

# 8 堀切四季のみち



葛飾区は、河川・水路が多く、その整備に多くの費用と年月がかけてきた。現在は下水道の整備が進み水路は不用となり、その跡地を利用する計画の一環として、「堀切四季のみち」が誕生した。

以前は、ほとんどが水路敷で近隣区民の裏路地として機能していたものを、表の道として親しまれるように、葛飾区と沿道住民が一体となって整備を図った。歩道部分には、隣接する小学校の児童が描いた絵を陶板やモザイクタイルにして埋め込み、マンホールの蓋には区民の描いた絵画がはめ込まれている。

さらに、レストスポットには展示施設を六基配置しているほか、花壇のスペースを大きくとり、区民の意見を取り入れながら植栽を変化させ、四季折々の風情を醸し出している。

## DATA・BOARD 8



- ①東京都葛飾区堀切1丁目7番先
- ②延長：1.1km、幅員：4.5～13.6m
- ③掲示板6基、花壇
- ④インターロッキングブロック、石、植栽ほか
- ⑤児童の作品展示